

Shinryoku 新緑の会NEWS



問い合わせ先

自由民主党 新緑の会

〒400-8510

甲府市丸の内 1-6-1 山梨県議会内

電話番号 055-223-1805

FAX 055-223-1831

ご挨拶

新生・新緑の会が9人で再始動して、あっという間に7カ月を経過しました。振り返りますと、県議会の第2会派として右往左往しながらも、県政を少しでも前進させるため一致団結して歩んで参りました。

私たちは一期・二期の若い議員団であります。常に県民ファースト、常にスピード感をもって、常に謙虚に、現場主義を貫いていくことを改めてここに決意いたします。

自由民主党

新緑の会 Shinryoku

2023年



メンバーが 力を入れる 取り組み

Initiatives that members focus on

Initiatives that members focus on

会派の代表として願うこと

4月から議員として二期目を迎え、今期は県議会の会派『自由民主党新緑の会』の代表を務めることになりました。二期生4名、一期生5名という若い議員が所属するグループです。私が代表を務めることができるのかと不安に感じているのですが、同期のメンバーもいるし、フレッシュで元気な若手メンバーもいて、いつも助けられています。

議員はみんな抱えている地域がありますから、それぞれの地域課題にしっかりと向き合っていきたいと思っています。その中で忘れてほしくないことは『仲間』がいるということ。苦しいときは必ず助け合える『自由民主党新緑の会』でありたいです。



YASUSHI SASUGA



2期
64歳

さすぎ やすし

代表 **流石 恭史**

選挙区：南都留郡 所属委員会：農政産業観光委員会
政治信条：和して同ぜず

Initiatives that members focus on



2期
57歳

ながさわ けん
長澤 健

選挙区：西八代郡・南巨摩郡 所属委員会：土木森林環境委員会 委員長
政治信条：初心忘るべからず

仕事の見える化とフットワークで県民に寄り添う

県民から「県議会議員の仕事って何をしているかわからない。県議は遠い存在で相談しづらい。」そんな声を聞きました。

県議になって、まずは、遠い存在イメージを払拭するため、SNSを活用し、県議の行動を発信し、政治活動の見える化をはかってきました。

山梨県土面積の1/5ある広大な西八代・南巨摩選挙区ですが、一人でも多くの声を聞き、県政へ反映できるよう、軽いフットワークで、呼ばれたらすぐに現場へ飛んでいき対応することをモットーとしています。

県民に寄り添った政治を目指し、政治スローガン「峡南をつなぐ」のもと、ふるさと峡南地域の声をつないでいきます。いつでも声をかけてくださいね。



Initiatives that members focus on



2期
51歳

きりはら まさひと
桐原 正仁

選挙区：甲州市 所属委員会：総務委員会 委員長
政治信条：至誠通天

未来ある山梨の子どもたちのために！



皆様とお約束した公約実現のため、9月議会で会派代表として、市民生活防災防犯4項目、産業振興1項目、農林業振興2項目、スポーツ教育文化芸術5項目、医療福祉2項目の計14項目の代表質問を行いました。トピックスとして①日本や山梨県にとって最大の社会的課題である人口減少について、結婚や子どもを持つ不安を取り除き、子育て世代が希望を持てる社会の実現に向けた取組の重要性②令和24年開催予定の国民スポーツ大会に向け、山梨らしい大会実現への取組と競技力向上において、トップアスリート発掘事業の世界に通用するスポーツ人材の育成について長崎知事に質しました。皆様の声をお寄せください。県政主役は皆様です。kusanone1@gmail.com

Initiatives that members focus on



2期
47歳

うすい ゆうき
副代表 **臼井 友基**

選挙区：甲府市 所属委員会：教育厚生委員会 委員長
政治信条：地道に謙虚に丁寧

教育厚生委員長としての職務

今年度は教育厚生委員会の委員長を拝命いたしました。本委員会は教育委員会・福祉保健部・子育て支援局・感染症対策センターを所管しており、ライフワークに福祉を掲げる立場として、日々やりがいを感じながら活動しています。

委員長として為すべきことは何か？繰り返し自問自答していますが、教育厚生分野において目指すべきは「人を育て、人を守る」ことです。決して間違いは許されない分野であります。委員それぞれの立場や主張に違いがあったとしても、委員長として常にバランスと秩序を保ち、高度な倫理観や使命感を兼ね備えた集団（委員会）を形成すべく努力して参ります。



Initiatives that members focus on



1期
44歳

てらだ よしひこ
寺田 義彦

選挙区：甲府市 所属委員会：教育厚生委員会
政治信条：共に「過去」に学ぼう。「今」を生きよう。「未来」を創ろう。
～Re: 甲府。あなたの声を県に～

新人としての半年

公務・政務はもとより、様々な研修、多くの諸行事や会議への参加、自己研鑽などを通して、各種関係法令・条例の学習、県議会や県庁のルール・慣例の理解、県議の職責の再認識などを深めてまいりました。9月定例会では一般質問に登壇させていただきましたが、市議の経験はあるものの県議としては新米。県民の皆様のお声を反映させ、県市の連携を推進し、県政の発展に寄与したいからこそ、この半年間「まずはしっかり学ぼう」をテーマに努めてきたところです。より多くのお役に立てるよう、引き続き奮励努力してまいります。



Initiatives that members focus on



1期
59歳

おざわ えいち
小沢 栄一

選挙区：韮崎市 所属委員会：農政産業観光委員会 副委員長
政治信条：責任・行動

県及び韮崎市の課題解決について

山梨県議会議員として、韮崎市内各地域の方々からご要望やご意見をいただくとともに、率先して皆様のお声を聞く努力をして参りました。こうしたご要望等をいち早く県庁の関係部局に持ち込み、打ち合わせ等を行い、課題解決を図っております。特に当選後初の県議会本会議において「地域医療の推進」「スマート農業の推進及び荒廃農地の発生防止」「韮崎市内の道路整備、河川の伐木浚渫、土砂災害対策」について質問を行い、知事から県及び韮崎市の抱える課題の解決に向けた積極的な答弁をいただきました。引続き皆様のお声をしっかりと県に届け、スピード感と責任感をもって職務に邁進する所存であります。皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



Initiatives that members focus on



1期
49歳

いとう たけし
伊藤 毅

選挙区：甲斐市 所属委員会：教育厚生委員会
政治信条：市民・県民とともに、明るい未来を創る

甲斐市民の声をしっかり県政へ!



県議会議員として任期をいただき半年が経ち、改めて心から感謝申し上げますと共に、諸課題の解決に向けてスピード感を持って果敢に取り組むべく強く決意しております。この半年間にいただいている、高校生、子育て世代、働く世代、諸先輩方、高齢者の皆様、すべての声が重要課題でありしっかりと取り組む所存です。そんな中、力を入れたことの一つに、私も公約にしている総合的な少子化対策です。現在、県も人口減少危機突破宣言をしており、私も地元の産婦人科の医師、山梨大学産婦人科の医師と共に抜本的解決に向け研究に取り組んでいます。今を生きる世代の責任として取り組むべき課題です。今後も甲斐市民の声をしっかり県政へ届けることをお誓いします。

Initiatives that members focus on

今後も、県民の皆さまの「声」を原点に!

子育て世代の一人として「暮らしの声」や「現場の声」に耳を傾け、多くのお声をいただく中で、地域と行政のつなぎ役であることを自覚し、3月までは甲府市議会議員、そして5月からは山梨県議会議員として、全力で駆け抜けてまいりました。県民の皆さまの「声」を聴くことが何よりも重要であると考えております。その中で、山積する課題と向き合い、県民の皆さまとともに乗り越え、山梨に関わるすべての方に「豊かさ」を実感していただけるよう、これからも初心を忘れることなく「声」を原点に取り組んでまいります。まだまだ、駆け出しの身ではございますが、今後もご指導・ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。



1期
42歳

もちづき だいすけ
望月 大輔

選挙区：甲府市 所属委員会：総務委員会
政治信条：山梨をつなごう!!

～まちをつなぎ、人をつなぎ、想いをつなぐ。～

Initiatives that members focus on



1期
36歳

わたなべ だいき
渡辺 大喜

選挙区：富士吉田市 所属委員会：土木森林環境委員会
政治信条：若者が夢と希望をもてる政治



観光振興、子育て、介護の課題解決に向けて!

この1年間は主に観光振興、子育て、介護の課題解決にむけて取り組んできました。観光振興については富士北麓地域で目立つオーバーツーリズムの解消、観光の高付加価値化、滞在型観光の推進。子育て支援については、男性の育休取得率の向上や共働き世帯への利便性の高い保育環境の整備。介護分野においては不足する労働力を補うため7月にベトナム・クアンビン省を訪問し、同省からの人材の送り出し、労働力の確保に努めてきました。他国からの人材受け入れに際し、言語の違いが大きな妨げになっていることから、9月議会において外国人への日本語教育や国際保育の可能性について一般質問を行い、「言葉の壁」の解消にむけて取り組んでいます。

即行動！即勉強！

That's action! That's reluctance!

「課題は現場にあり！」

新・新緑の会が発足して半年以上が過ぎました。

地域課題・社会課題にいち早く向き合うため、10月13日に「サントリー白州工場」を視察に行き、そして同日の10月13日に山梨大学医学部腎臓内科の中島教授よりご講義を受けました。

2023
10.13

「水と生きるサントリー白州工場」



サントリー白州工場にて、「立地」「設備」と環境活動、地域貢献活動、産官学連携また、水の利活用については、付加価値を創造する地域資源のブランド化の説明をいただきました。またサントリーグループの事業活動については、多様なステークホルダーとの関わりのなかで進められており、持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるために、さまざまなコミュニケーションを実施し、いただいたご意見や社会のニーズを企業活動に反映し、高い信頼関係や協働関係を継続的に築いていくことを目指しています。

サステナビリティ活動に取り組み、かけがえのない美しい地球環境を次の世代に引き継いでいけるよう、会派として取り組んで参ります。

2023
10.13

「慢性腎臓病対策」 中島歩教授

山梨県の慢性腎臓病対策について、山梨大学医学部の中島教授（腎臓内科）よりご講義をいただきました。日本国内の人工透析を受ける患者数は約35万人で年々増加しており、医療費は高額で総医療費の4%を占めます。

慢性腎臓病を避けるためには日々の生活で塩分量のコントロールが何より重要です。通常は成人で1日あたり8グラム以下の塩分に抑えることが推奨されていますが、現代人は10グラム以上摂取しています。山梨県は摂取量で全国6番目にあり、糖尿病性腎症による新規透析患者率は全国で最多であります。

慢性腎臓病には様々な原因がありますが、私たち新緑の会としても中島教授の提唱する「やまなし減塩プロジェクト」を推進し、県内での減塩習慣を定着させていきたいと思えます。



政治をもっと身近に!!

先日、ある専門学校で授業のお手伝いをさせていただいた際に、「選挙で投票に行っている人は？」と確認したところ、わずか3割に届くかどうかでした。

さすがにショックでした。でも、原因は議員側にあつて、きっと発信力があまりに乏しかったということでしょう。

県議会では、毎年『高校生議会』を開催しています。高校生が議場で県政課題に対して意見提言していただくというものです。引き続き、若者世代に「開かれた議会」に取り組めます。

山梨県議会
インターネット中継



本会議は、インターネット中継でも見ることができます。

<https://yamanashi-pref.stream.jfit.co.jp>